

ナノテクノロジーの社会影響に関する問題の構造化

- ナノテクノロジーの一応の定義
 - ナノテクノロジーは 10^{-9}m のサイズのオーダーで原子・分子を制御し、物質に新しい機能を発現させることに関連した技術。
- ナノテクノロジーの持つ革新性のゆえ、正の社会影響への期待と同時に負の側面への懸念も大きい。
- ナノテクノロジーへの人々の認識の仕方の特徴
 - ナノテクノロジーの**定義**が人により異なる。
 - ナノテクノロジーの**社会的影響を分類する方法**が人により異なる。
 - 将来に何が起こるかについての**因果関係**の認識が人により異なる。
 - 将来にどういう**オプション**を採るかに関する**選好**が人によりことなる。

背景・目的・方法

- （背景） 正の影響の最大化・負の影響の最小化のための適切な政策・戦略を立案するには、**人々の認識のばらつき**（定義、応用分野、社会影響等に関して）**の次元とその幅を明らかにする必要がある。**
- （目的） 様々な論者が持つナノテクノロジーに関する**認識を整理するための枠組みを提案する。**
- （方法） ナノテクノロジーの社会影響を論じた様々な学術論文や報告書を情報源として、そこで論じられている認識を抽出・整理する。